

【美術歴】

1975 年 京都精華短期大学美術科絵画コース入学

1977 年 同大学卒業

1977 年 同大学専攻科入学

1978 年 同大学専攻科卒業

1998 年 ~2007 年 SP 展参加 木屋町画廊

2008 年 ~2025 年 GEN 展参加 ギャラリーマロニエ

2009 年 タカノタカシ fake art 展開催 サカタ二画廊

2018 年 のりもの集合展参加 ギャラリーえがく

2019 年 じゅうの箱展参加 ギャラリーえがく

2023 年 2024 年 K2 展参加 京都市美術館別館

【EECAGEN 展について】

「EECAGEN」日本語にすると「ええかげん」になります。関西弁なら「ええかげんな奴やな」「ええかげんにせいよ」故坂田利夫氏のギャグに「ええかげんにせんじゃくあめ」というのもありました。だいたい負のイメージです。しかし違う角度で見ると「ええかげん」=「良い頃合い」英語なら「good timing」となります。なかなか面白い言葉です。

【アーティスト・ステイトメント】

小学生の時はノートに「○×君」とか主人公を作ってみんなが自分の机に集まってくれて、そこで漫画を描いたりして喜んでもらうのが嬉しかったり、中学生の時は友人の好きな女優を鉛筆画で描いて、そっくりやなあと言われるのが嬉しかったり 高校生の時は何人かの先生の似顔絵を黒板に描いてハシャイだり これといって取り柄の無い中で、絵は何時も傍にありました。しかし絵でメシが食えるなんて全然思ってませんでした。学費を半分出すからと言って美大に入ってしまった。学生時代は殆どアトリエとアルバイトの往復で、学費の払い込みが遅れて、卒業証書が無かったという笑い話もあります。就職後は知り合いの家族写真を絵にしたりして、たまにお金をもらっていました。そんな風だから、絵で何かを訴えたいとか そんな気持ちは全く無くて、バイクやクルマの絵も、勿論好きなものもありますが、バイクやクルマに乗っている、カッコイイ人が描いてはるん違うやろかとか思われたくて描き出しました。